



TEAM FUKUOKA NEWS 2022



福岡県選手団サポートニュース R4. 1.27 Vol.4

TEAM FUKUOKA 大躍進！ スケート競技会 天皇杯第5位！ 皇后杯第3位！

アイスホッケー 少年男子 関東の壁厚く初戦敗退

27日（木）、本県アイスホッケー少年男子チームの初戦の相手は、前回大会4位の強豪・神奈川県チーム。

第1ピリオドは、激しい攻防の中、9本のシュートを放つが、ゴールネットを揺らすことができず0-2で終了。第2ピリオドで、何とかペースをつかもうとするが、パスカットからの速攻を許すなど、第2ピリオド終了時点で0-5となった。第3ピリオドの中盤、前岡優聖選手（近大附属福岡高校）からのパスを花元そら選手（稲築志耕館高校）がシュート。相手ゴールに豪快に突き刺さり、1点を返すも1-8で終了し、関東の強豪神奈川県チームに敗退した。

得点を決めたキャプテンの花元選手は「1年間、この大会のために練習してきた。最終的には負けて悔しいが、このチームは明るくマイナスにならない素晴らしいチームだった。来年は大学に進学するが、ふるさと選手としてまた福岡のために頑張りたい」と力強い言葉で高校生最後の大会を締めくくった。



アイスホッケー少年男子チーム

フィギュア 成年女子 竹野姉妹 都道府県別成績 第2位！！

成年女子として3年ぶりの優勝を狙う竹野姉妹。まずは、妹の仁奈選手（筑紫女学園大学）が、得意のステップとスピンなど見事な演技で、フリースケーティング（FS）を8位、個人8位（100.53点）で終えた。「ショートプログラム（SP）とFSのスピンとステップで最高評価をとれたのが嬉しかった」と振り返った。そして、SP1位、今大会の最終滑走となった姉の比奈選手（福岡大学大学院）の演技。構成の完成度の高さや華麗なスピンで着実に加点し、後半のジャンプを全て成功させるなど、SPに続きFSもトップとなる125.12点を記録し、個人で1位（194.44点）となった。試合後、予想以上の高得点に「自分の点じゃないみたいで実感が無いが、自分らしい演技ができて嬉しい」と満面の笑み。都道府県順位でも2位という好成績に彼女たちは「これまで様々な制約の中で満足のいく練習ができなかったが、どんな環境においても諦めずに取り組んできた結果が出た」と、トップアスリートとしての強さを感じた。



竹野比奈選手、竹野仁奈選手

やったぞ！福岡！ 本県選手団大健闘！！

第77回国民体育大会冬季大会スケート競技会では、本県選手団の活躍により、男女総合成績（天皇杯）で5位、女子総合成績（皇后杯）では3位という、雪国に負けず劣らずの素晴らしい結果を収めてくれた。

この結果が大きな弾みとなり、2月に開催される冬季大会スキー競技会や本大会での本県選手団の活躍につながることを期待したい。

第77回国民体育大会冬季大会スケート競技会総合成績

男女総合成績（天皇杯）

順位	都道府県名	得点
1	長野県	254
2	北海道	172.5
3	愛知県	125
4	兵庫県	109
5	福岡県	108
6	栃木県	94
7	群馬県	89
7	山梨県	89

女子総合成績（皇后杯）

順位	都道府県名	得点
1	長野県	111
2	北海道	83
3	福岡県	81
4	山梨県	76
5	神奈川県	62
6	愛知県	55
7	東京都	52
8	兵庫県	43
8	埼玉県	43



スケート競技会 表彰式